

研究課題番号	5-1955
研究課題名	大気粒子中化学成分が小児のアレルギー及び生活習慣病の発症に及ぼす影響の解明
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	兵庫医科大学
研究代表者名	島 正之

1. 委員の指摘及び提言概要

小児のアレルギー及び生活習慣病のリスク要因と、胎児期から乳幼児期における大気中PM2.5及びその化学成分への曝露との関連を疫学的に解明する困難な課題であるが、多人数について丁寧に実施されている。化学輸送モデルをPMの曝露研究に有機的に結合させた大変重要な研究成果と考えられる。PM2.5中成分の影響が示唆されており、さらなる知見を得、環境施策へ反映されたい。一方、個人曝露量の推定値の妥当性の検証は困難であり、喘息などとの関係を検討するためには不確実さが大きいとの懸念もある。また、室内での対策の反映を考慮する必要がある。今後、他地域に発展できる手法としての改善をさらに図るとともに、疫学データの解析に利用して欲しい。

2. 採点結果

評価ランク：A